

Urban 氏による
世界最高峰の硬軟組織マネジメントがここに！

Vertical 2 骨造成

垂直的および水平的歯槽堤増大術の完成形



Dr. Istvan Urban

[著] Istvan Urban

[監訳] 中田光太郎
松野智宣
岩野義弘

[翻訳統括] 黒嶋伸一郎
田中讓治
増田英人
山道研介

[翻訳] 浅賀勝寛 / 安斉昌照 / 岡田素平太
川本賀奈子 / 小林真左子 / 齋藤琢也
菅田真吾 / 原田武洋 / 丸橋理沙
水口稔之 / 山道美季



第一弾も必読!!
ぜひあわせてご購入ください!
垂直的および水平的歯槽堤増大術

[著] Istvan Urban
[監訳] 和泉雄一
[監訳] 窪木拓男 / 山崎長郎
A4 判変型 / 400 ページ
定価 40,700 円
(本体 37,000 円 + 税 10%)



ソーセージテクニックの Urban 氏による骨造成の 最新テクニックが余すことなく披露されている必読の 1 冊

Urban 氏の前著『垂直的および水平的歯槽堤増大術』はこれまで 12 か国語に翻訳され、水平的骨造成のソーセージテクニックを用いた GBR（骨再生誘導）が世界中で実践されるようになった。本書は第一弾をふまえ、垂直的骨造成を達成するための“安全に減張された伸展フラップ（extended safety flap）”の詳細、さらには軟組織造成についても 10 章にわたって大きなリアル写真で解説している。ついに、硬・軟組織マネジメントの最高峰がここに完成を迎える！

QUINTESSENCE PUBLISHING
日本

●サイズ:A4判変型 ●560ページ ●定価44,000円(本体40,000円+税10%)

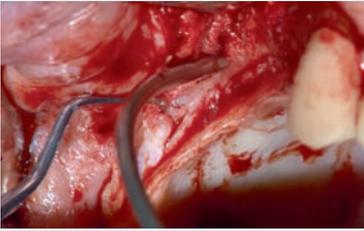
クインテッセンス出版株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目2番6号 クイントハウスビル

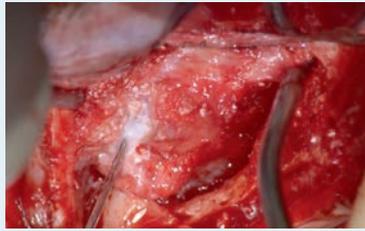
TEL. 03-5842-2272 (営業) FAX. 03-5800-7592 <https://www.quint-j.co.jp> e-mail mb@quint-j.co.jp



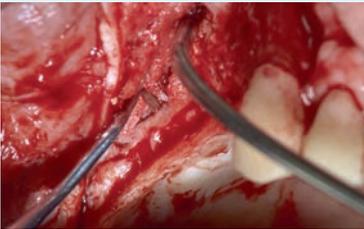
サイナスリカバリーのための アイランドテクニック



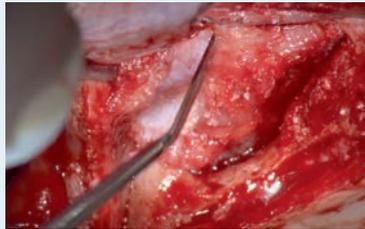
① 頬側骨欠損の近心隅角部を確認するために、全層弁の挙上を開始する。



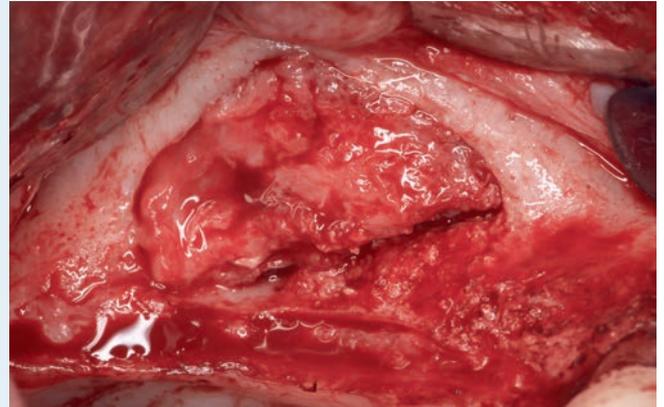
③ 最後のステップは、欠損部上方の隅角部へのアプローチである。メスを使用して組織を骨の近傍まで切開を加える。



② 全層弁の唇側面観と、歯槽頂部および近心部の欠損位置を確認。小型のサイナスキュレットを用いて、近心歯槽頂の隅角から上顎洞粘膜の挙上を開始する。



④ ミニミーを使用して、軟組織下に存在した骨表層部が全周にわたって露出した状態の唇側面観。骨が全周にわたり露出していることに注目してほしい。



⑥ 完成したアイランド（軟組織上顎洞粘膜複合体）の唇側面観。最終的に頬側骨欠損部は隔離され、骨膜下層には上顎洞粘膜が付着しており穿孔は認められない。健全な骨が完全に露出している。

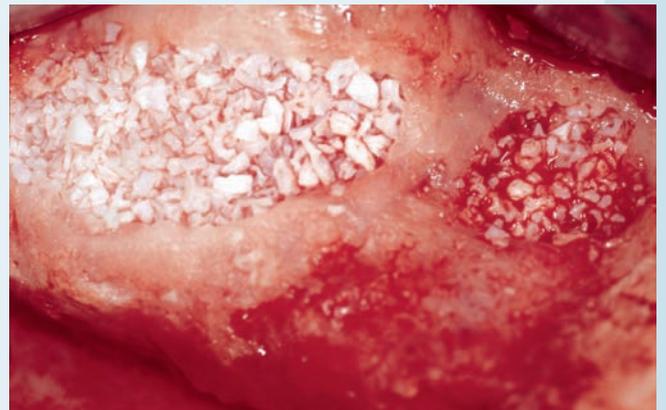
サジタルサンドウィッチテクニックを用いた 上顎洞底挙上術



① リモートフラップで全層弁を剥離・挙上し、上顎臼歯部の骨表面を露出させる。上顎洞側壁にラテラルウィンドウを形成し、トラップドアで開窓を行う。



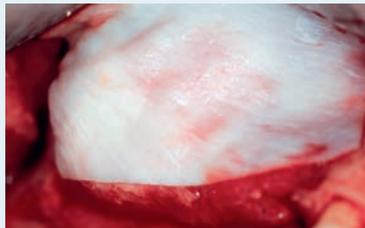
③ 無機質ウシ骨由来ミネラル（ABBM）を上顎洞の内側壁から充填していく。



④ 自家骨層の側方部に、最終層として使用される ABBM を充填する。

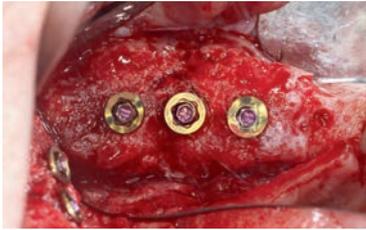


② 上顎洞粘膜は適切な垂直の高さを確保できるまで注意深く挙上する。上顎洞粘膜の挙上は、開窓部の前下方隅角から開始する。

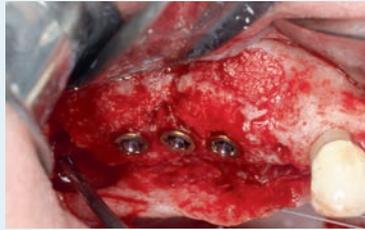


⑤ 上顎洞側壁開窓部を保護するために、吸収性の天然コラーゲンメンブレンで被覆し、フラップを単純断続縫合と連続懸垂縫合で縫合する。

ミニソーセージテクニックを応用した 二次的な骨移植



①② インプラントを埋入し、ファイナルアバットメントを締結した際の咬合面観および頬側面観。



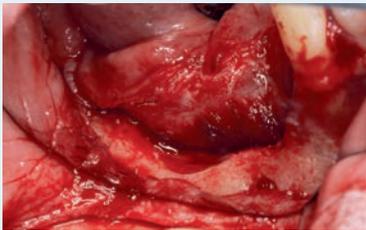
⑤ 天然コラーゲンメンブレンを固定した際の咬合面観。



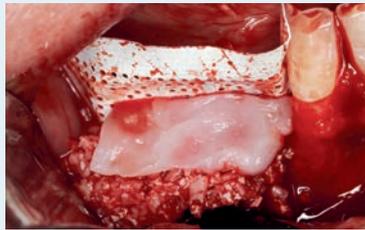
③④ インプラントネック部にはミニソーセージテクニックを応用し、二次的な骨移植を行った。



BMP-2 を注入したコラーゲンメンブレン使用の ラザニアテクニック



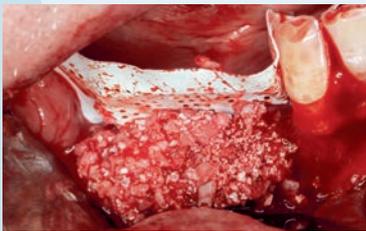
① 進行した垂直性骨欠損の唇側面観。安全に減張された伸展フラップ (extended safety flap) にて術式を進める。



③ BMP-2 を注入したコラーゲンメンブレンを移植片の上に重ねた (ラザニアテクニック)。



⑤ 9 か月後の順調に治癒している歯槽頂の唇側面観。



② 自家骨と ABBM を 1 : 1 の比率で混合し、使用した。



④ 移植片を固定するために、有孔質の高密度ポリテトラフルオロエチレン (d-PTFE) メンブレンを使用した。



Istvan Urban DMD, MD, PhD

ゼンメルヴァイス大学 (ハンガリー・ブダペスト) にて 1991 年に歯学博士を、1996 年に医学博士の学位を取得。1992 ~ 1996 年、ブダペストの St. Istvan 病院にて口腔外科の研修プログラムを受講。米国・カリフォルニア大学ロサンゼルス校において歯周病学のインターンシッププログラムに参加する。1999 ~ 2000 年に米国・ロマリダ大学のフェローシッププログラムを卒業後、同大学の助教職を得て、インプラント歯科学の卒後プログラムで教鞭をとる。米国カリフォルニア州の歯科医師免許を所有しつつ、現在はブダペストで開業している。2012 年には歯周病学の PhD をセゲド大学から授与され、現在、同大学の名誉教授を務める。Osteology Foundation のボードメンバー。ミシガン大学歯周病学講座の非常勤の臨床准教授に就任。2017 年、クインテッセンス出版から書籍『Vertical and Horizontal Ridge Augmentation : New Perspectives』(邦題:『垂直的および水平的歯槽堤増大術 ソーセージテクニックと新たなコンビネーショングラフト』)、『Vertical 2: TheNext Level』を刊行。このたび、翻訳本『VERTICAL 2 骨造成 垂直的および水平的歯槽堤増大術の完成形』を上梓する運びとなった。

もくじ

はじめに

- 1章 垂直方向および水平方向に造成した骨の生物学的性質
訳：松野智宣
- 2章 チタン強化ポリテトラフルオロエチレンメッシュを用いた垂直的骨造成の科学的根拠
訳：松野智宣

下顎臼歯部の極度な垂直性骨欠損

- 3章 下顎臼歯部における極度な骨欠損の再建：外科的原則と解剖学的考察
訳：安斉昌照 / 増田英人
- 4章 瘢痕組織をともなう進行した下顎臼歯部骨欠損の再建
訳：丸橋理沙 / 中田光太郎
- 5章 基底骨が狭く進行した下顎臼歯部骨欠損の再建
訳：丸橋理沙 / 中田光太郎
- 6章 不完全な骨頂レベルを有する進行した下顎臼歯部欠損の再建：「ポーン犠牲 (paw sacrifice)」
訳：浅賀勝寛
- 7章 低用量骨形成タンパク質(BMP)-2を用いたラザニアテクニックによる進行した下顎臼歯部欠損の再建
訳：浅賀勝寛

下顎前歯部の垂直的骨造成

- 8章 進行した下顎前歯部欠損の再建：外科的原則と解剖学的考察
訳：小林真左子
- 9章 下顎前歯部の極度な骨欠損の再建：軟組織の再建と再生骨の保存に関する考察
訳：小林真左子
- 10章 下顎前歯部の極度な骨欠損の再建：水平的骨造成の重要性
訳：小林真左子

上顎臼歯部

- 11章 歯槽堤欠損が極度もしくは中程度の症例に対して、上顎洞底挙上術後に埋入されたインプラントの長期予後
訳：山道研介

- 12章 上顎洞底挙上術を困難にする要因と併発症：術中出血と上顎洞隔壁
訳：山道研介
- 13章 上顎洞底挙上術および上顎臼歯部再建の難しさ：上顎洞側壁と歯槽堤の欠損
訳：川本賀奈子
- 14章 上顎洞底挙上術後の骨補填材料への感染と上顎洞炎
訳：原田武洋
- 15章 上顎臼歯部における極度な垂直性歯槽堤欠損の再建
訳：山道美季

上顎前歯部垂直的骨増大術

- 16章 序論と臨床治療ガイドライン 訳：菅田真吾
- 17章 上顎前歯部垂直性骨欠損に対する複雑な再建 訳：菅田真吾

上顎前歯部欠損

- 18章 上顎前歯部における極度な欠損の増大 訳：齋藤琢也

骨移植を併用した軟組織の再建

- 19章 骨再生後の自然な軟組織構造の再構築 訳：岩野義弘
- 20章 唇側ストリップ歯肉移植 訳：岩野義弘
- 21章 ダブルストリップグラフト 訳：田中譲治
- 22章 大きな開放性治癒結合組織移植片 訳：水口稔之

インプラント間乳頭の再建

- 23章 2回結合組織移植 訳：岡田素平太
- 24章 アイスキューブ結合組織移植 訳：岡田素平太
- 25章 アイスバーグ結合組織移植 訳：岡田素平太

隣接歯と軟組織の再生

- 26章 垂直的歯周組織再生と歯槽堤増大の併用 訳：黒嶋伸一郎

究極の審美性

- 27章 歯肉歯槽粘膜炎の温存にともなう硬・軟組織の再建 訳：黒嶋伸一郎
- 28章 併発症 訳：黒嶋伸一郎

監訳



中田光太郎
医療法人社団洛歯会
中田歯科クリニック (京都府)
京都府立医科大学 客員教授
EN (Enhancement of New dentistry) 主宰



松野智宣
日本歯科大学附属病院
口腔外科 教授
日本歯科大学生命歯学部
口腔科学講座 教授
(一社) 日本歯科薬物療法学会 理事長



岩野義弘
岩野歯科クリニック (東京都)
日本大学歯学部 兼任講師
CISJ (日本インプラント臨床研究会) 専務理事



黒嶋伸一郎
北海道大学大学院歯学研究院
口腔機能学分野 冠橋義歯補綴学教室
教授
ITI フェロー



田中譲治
田中歯科医院 (千葉県)
CISJ 施設長



増田英人
医療法人ライフスマイル
ますだ歯科医院 (大阪府)
EN 大阪会長



山道研介
山道歯科医院 (福岡県)
BDRg (Biological-driven Dental Research group)

翻訳統括

翻訳 (五十音順)



浅賀勝寛
医療法人寛友会 浅賀歯科医院 (埼玉県)
EN 東京



安斉昌照
医療法人 OHP
あんざい歯科医院 (神奈川県)
EN 東京理事



岡田素平太
医療法人社団美樹歯会
オカダ歯科クリニック (東京都)
EN 東京会長



川本賀奈子
歯科 川本医院 (広島県)
BDRg



小林真左子
鳥根大学医学部
歯科口腔科学講座
准教授



齋藤琢也
医療法人温歯会
ざいとう歯科・矯正
歯科医院 (群馬県)
CISJ 研修会委員会委員



菅田真吾
医療法人誠仁会
菅田歯科医院 (大阪府)
EN 大阪理事



原田武洋
医療法人はらだ歯科医院
(福岡県)
BDRg



丸橋理沙
医療法人社団洛歯会
中田歯科クリニック (京都府)
Team GLWB 代表



水口稔之
水口インプラント
センター新宿 (東京都)
CISJ 研修会委員会
委員長



山道美季
山道歯科医院 (福岡県)
BDRg

きりとり線

注文書

Vertical 2 骨造成

垂直的および水平的歯槽堤増大術の完成形
モリタ商品コード:208050962

冊注文します。

| | | |
|-----------|------|----------|
| ●お名前 | ●貴院名 | ●ご指定歯科商店 |
| ●ご住所 (〒) | | |
| ●TEL | ●FAX | 支店・営業所 |

※ご記入いただいた個人情報は、弊社の新刊案内、講演会等の案内に利用させていただきます。
※ご指定歯科商店がない場合は送料をいただき、代金引換宅配便でお送り致します。